

2017年11月8日

高等教育キーパーソン各位

地域科学 KKJ セミナーニュース 470

ネットワーク型大学経営の新展開 2

～法人合併／設置者変更／地方・大都市交流／国・公・私の協働～

ご参画・ご派遣のお願い

2020年代以降の高等教育を構想するにあたって地方圏・大都市圏、私・公・国立、大学・短大の枠を超えた、“連携と協働”及び“統合と合併”のネットワーク型経営の戦略展開が急務となっております。

2008年度からの「戦略的大学連携支援事業」をスタートに、「私立大学等改革総合支援事業」（2013年度～）においても、17年度から「各大学等の特色化・資源集中を促し、複数大学間の連携、自治体・産業界等との連携を進める“プラットフォーム形成支援”のタイプが新設」されるなど、政策サイドからもプッシュされています。

県域等の地域圏における“大学コンソーシアム”も全国45カ所で、国公立の枠を超えて組織されていますが、実質的な取組みと成果はまさに、これからといえましょう。

本セミナーにおいては、4人のキーパーソンにご出講いただき、ホットな政策動向とともに、全体状況ならびに先進事例の報告を賜ります。

大学等の連携・統合の現況、制度及び今後の方向性について、文科省高等教育企画課長の蝦名氏に報告と解説をいただきます。〈公私立大学連携〉として、桜美林大学と沖縄3大学との“国内留学”の取組み・成果と今後の拡大・展望について、教育支援課長の和田氏から。

〈法人合併〉について、岐阜経済大学と大垣女子短期大学の合併による新法人発足の経緯と教学展開プラン、そして学園都市構想の実現への取組みについて、大垣総合学園評議員・大学事務局長の渡辺氏から。

〈設置者変更〉について、プール学院大学継承による桃山学院教育大学の開設の協議経緯プランの特徴と内容、両法人の今後の改革を、桃山学院担当事務部長の原氏とプール学院法人事務局長の桜井氏から。3つのケーススタディにおける貴重な報告と論展を賜ります。